



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,766	3.2	1,167	△1.2	1,278	△6.2	670	△5.6
2019年3月期第2四半期	20,113	4.3	1,182	38.4	1,362	48.0	710	66.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 822百万円 (87.3%) 2019年3月期第2四半期 439百万円 (△48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.79	—
2019年3月期第2四半期	20.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	57,526	45,940	75.3
2019年3月期	57,742	45,689	74.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 43,325百万円 2019年3月期 43,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当6円

2020年3月期配当金(予想)につきましては、2019年5月8日に「2019年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	5.7	4,000	2.5	4,100	0.0	2,450	△2.2	72.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	34,536,635株	2019年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	656,986株	2019年3月期	674,539株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	33,868,428株	2019年3月期2Q	33,862,269株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当社は、2019年11月21日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、米中貿易摩擦による各国の景気減速や、英国でのEU離脱をめぐる紛糾等、依然として今後の世界経済全体での先行きの不透明感は拭えず、その動向に引き続き留意が必要な状況にあります。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っております。国内では、「音の報せる力」を強みとする当社ならではの視点で、商品のラインアップを拡充し、特にAI、IoTの技術を取り入れた新たな商品の市場導入を進めています。また、世界5地域でのマーケティング機能を強化させ、それぞれの市場ニーズに応えた商品開発の更なる加速と販路の拡充を継続して行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,766百万円（前年同四半期比+652百万円、3.2%増）となりました。利益については、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は1,167百万円（前年同四半期比△14百万円、1.2%減）、経常利益は1,278百万円（前年同四半期比△84百万円、6.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は670百万円（前年同四半期比△39百万円、5.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、報告セグメントの算定方法を第1四半期連結会計期間より変更いたしました。この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間を変更後の算定方法により比較算出しております。詳細については、後述の【セグメント情報】に記載しております。

(日本)

売上高は12,754百万円（前年同四半期比+597百万円、4.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2,557百万円（前年同四半期比+374百万円、17.2%増）となりました。

鉄道車両向けの出荷は減少したものの、音響機器や映像機器の販売が堅調に推移しました。特に減災・防災市場向けの販売や、オフィス市場向けの販売が伸長しました。結果、売上高、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は3,812百万円（前年同四半期比+243百万円、6.8%増）、セグメント利益（営業利益）は711百万円（前年同四半期比+31百万円、4.6%増）となりました。

タイでは交通インフラ市場向け、インドネシアでは官公需向け大型案件の納入が進み、売上高、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は2,329百万円（前年同四半期比△211百万円、8.3%減）、セグメント利益（営業利益）は296百万円（前年同四半期比△253百万円、46.0%減）となりました。

イギリスでは音響機器の販売が伸長しました。一方で、セグメント全体では、為替円高による売上高の減少に加え、大型案件の減少もあり、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は1,052百万円（前年同四半期比△11百万円、1.1%減）、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同四半期比△67百万円、52.1%減）となりました。

アメリカでは商業施設向けの大口案件の納入が進みましたが、カナダでの販売が伸び悩み、売上高、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は816百万円（前年同四半期比+35百万円、4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は115百万円（前年同四半期比+18百万円、19.2%増）となりました。

中国では空港向けなどの大型案件の納入が進み、また、教育市場などでの販売が堅調に推移しました。台湾での販売も伸長し、売上高、セグメント利益は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は57,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円の減少となりました。資産の部は、有形固定資産の増加などがありましたが、売上債権の減少などにより減少しました。負債の部及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は18,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,391百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益1,278百万円、減価償却費668百万円、売上債権の減少額2,240百万円、たな卸資産の増加額△1,158百万円、仕入債務の減少額△1,111百万円、法人税等の支払額△537百万円などにより、営業活動による資金の増加は659百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

研究開発棟等の新設や生産設備の取得による支出1,619百万円などにより、投資活動による資金の減少は1,496百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払541百万円などにより、財務活動による資金の減少は360百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月8日に「2019年3月期決算短信」にて公表しておりますが当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,014	15,381
受取手形及び売掛金	10,305	8,013
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	6,175	6,838
仕掛品	846	1,054
原材料及び貯蔵品	2,994	3,139
その他	671	868
貸倒引当金	△85	△61
流動資産合計	41,423	38,734
固定資産		
有形固定資産	7,747	9,966
無形固定資産	1,703	1,521
投資その他の資産		
投資有価証券	5,524	5,911
投資その他の資産	1,345	1,392
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	6,869	7,303
固定資産合計	16,319	18,791
資産合計	57,742	57,526
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,066	2,930
短期借入金	934	1,324
未払法人税等	417	315
引当金	182	189
その他	2,472	2,318
流動負債合計	8,073	7,078
固定負債		
退職給付に係る負債	2,625	2,634
その他	1,354	1,872
固定負債合計	3,979	4,507
負債合計	12,053	11,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,879
利益剰余金	29,050	29,179
自己株式	△394	△385
株主資本合計	40,802	40,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,250	3,523
為替換算調整勘定	△868	△1,182
退職給付に係る調整累計額	23	30
その他の包括利益累計額合計	2,404	2,371
非支配株主持分	2,481	2,614
純資産合計	45,689	45,940
負債純資産合計	57,742	57,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	20,113	20,766
売上原価	11,169	11,525
売上総利益	8,944	9,240
販売費及び一般管理費	7,761	8,072
営業利益	1,182	1,167
営業外収益		
受取利息	28	24
受取配当金	45	45
為替差益	24	—
その他	105	84
営業外収益合計	204	154
営業外費用		
支払利息	19	32
為替差損	—	6
その他	3	5
営業外費用合計	23	43
経常利益	1,362	1,278
税金等調整前四半期純利益	1,362	1,278
法人税等	427	380
四半期純利益	935	898
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	227
親会社株主に帰属する四半期純利益	710	670

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	935	898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	272
為替換算調整勘定	△637	△357
退職給付に係る調整額	△14	8
その他の包括利益合計	△496	△75
四半期包括利益	439	822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	637
非支配株主に係る四半期包括利益	113	185

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,362	1,278
減価償却費	499	668
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	21
受取利息及び受取配当金	△73	△70
為替差損益(△は益)	△33	20
支払利息	19	32
売上債権の増減額(△は増加)	3,004	2,240
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,243	△1,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△947	△1,111
未払金の増減額(△は減少)	△268	△249
その他	△488	△514
小計	1,858	1,158
利息及び配当金の受取額	75	71
利息の支払額	△17	△33
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△567	△537
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,348	659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△555	△384
定期預金の払戻による収入	473	612
有形固定資産の取得による支出	△242	△1,619
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△166	△86
その他	△6	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497	△1,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	490	413
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25	△153
配当金の支払額	△439	△541
非支配株主への配当金の支払額	△96	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71	△360
現金及び現金同等物に係る換算差額	△327	△193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	452	△1,391
現金及び現金同等物の期首残高	19,670	19,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,122	18,268

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手のリース取引は、原則として全てのリースについて資産および負債を計上することとしました。

この結果、第1四半期連結会計期間期首の有形固定資産が472百万円、流動及び固定負債のその他が476百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,157	3,569	2,541	1,063	781	20,113	—	20,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,852	56	6	4	10	1,931	△1,931	—
計	14,009	3,625	2,547	1,068	792	22,044	△1,931	20,113
セグメント利益	2,183	680	549	130	96	3,640	△2,458	1,182

(注)1. セグメント利益の調整額△2,458百万円には、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,494百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,754	3,812	2,329	1,052	816	20,766	—	20,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,149	57	5	2	15	2,231	△2,231	—
計	14,904	3,870	2,335	1,055	832	22,998	△2,231	20,766
セグメント利益	2,557	711	296	62	115	3,744	△2,576	1,167

(注)1. セグメント利益の調整額△2,576百万円には、セグメント間取引消去40百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,616百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社主導の機能とその管理区分をより明確にするため、従来「アジア・パシフィック」、「中国・東アジア」に含めておりました生産機能、および「アメリカ」に含めておりました鉄道車両関連機器の販売機能を、「日本」に含めております。

また、「アジア・パシフィック」、「欧州・中東・アフリカ」、「アメリカ」、「中国・東アジア」の業績をより適切に把握するため、当社が各セグメントに向けて行った営業取引を含めております。

この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。